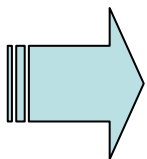


戦略的基礎科学研究強化プログラム（仮称）（独立行政法人科学技術振興機構）

基礎科学の特徴

- 高度に専門性が高く、検証に長い年月を要するなど成果が直ちに見えにくい
- 優れた研究者の下、短期的な成果を求めることなく、自由闊達にじっくりと考え研究することが必要
- 個性的で豊かな創造性を有し、挑戦し、「やりぬく力」のある基礎科学を担う人材の育成が必要
- 基礎科学を通じたイノベーションは新たな価値や技術を創造し社会経済の発展の源泉として大きな役割を果たすもの



- ☆基礎科学分野で優れた人材の創出を図りつつ、特出した成果を挙げるためには、長期間にわたる支援が極めて重要
- ☆独創性や創造性等の能力を十分に発揮するための機会を提供し、「出る杭を最大限に伸ばす」ための研究環境の構築が必要
- ☆画期的なイノベーション創出につなげるためには基礎研究の長期支援が必要

戦略的基礎科学研究強化プログラム（仮称）

目的

- ・我が国の基礎科学力の強化を通じ、継続的に画期的なイノベーションを創出するため、優れた目利き(国内外のノーベル賞級研究者)により、傑出した成果を出しうる潜在能力を持つ研究者を厳選。
- ・長期間(最長10年)にわたってじっくりと考え継続的に研究できる環境を提供し、基礎科学における世界的な研究成果の創出を図る。

研究スキーム

- ✓研究者自らの提案や他の研究者からの推薦により候補者を選出
- ✓国内外のノーベル賞級研究者を含む有識者委員会で、傑出した成果を出しうる研究者を選定
- ✓研究開始後5年目に中間評価を実施。評価に当たっては、成果ではなく、その後の発展性を重視。評価の結果を踏まえ、以降の研究継続を判断。

研究期間・研究領域・予算

- ✓研究期間：最長10年
(研究開始後5年目に発展性を評価し、その後の継続を判断)
- ✓研究領域：4領域を設定（初年度）
その後1～2領域／年採択
- ✓領域あたりの予算：最大5億円以下/年